

# 自分の考えをよりよくするために、 粘り強く考えることができる児童の育成

～試行と交流を繰り返す学習活動を通して～

特別研修員 国語 高地春見（小学校教諭）

## 試行とは

課題について試す活動をしながら自分なりに追究する。自分の考えを確かめたり、新たな気づきを得たりして、納得解を求めてさらに追究する。

## 交流とは

自分で試行したことをもとに、聞き合うことで他者の考えと自分の考えを比較する。それにより別の視点に気づき、自分の考えを振り返る。

## 実践事例（読むこと）

単元名:想像したことを音読劇で表そう  
教材名:『お手紙』  
(光村図書2年)

## 児童の課題

- ・自分の考えをもった段階で満足し、考えを見直してよりよくしていこうとすることに課題がある。
- ・課題や疑問を自覚し、どうしたらよりよくなるだろうかと粘り強く考えることに課題がある。

## 試行と交流を繰り返す

この台詞を、大きい声で読むのがよいのか優しい声で読むのがよいのか声に出して試したけど分からないな。

### ①試行Ⅰ

### ②交流Ⅰ

皆は、どう読もうと思ったの？

大きい声だとこの場面には合わないな。さっきの友達の考えをもとに、もう一度声に出して試してみよう。

### ③試行Ⅱ

### ④交流Ⅱ

私は、優しい声で読もうと思う。どうしてかというところ……。

悩んだところを、もう一度試してみたよ。今度の読み方はどうかな。

考えた読み方を話し合ったら、最初よりもっと登場人物の様子や気持ちが分かる読み方が見付かったよ。次の台詞は、どう読もうかな。

### ⑤試行Ⅲ

### ⑥交流Ⅲ

この読み方がいいね。

次の台詞は、どう読んだ？

さっきの台詞で読んだことをもとに考えてみようよ。

## 目指す児童像

自分の考えをもつことだけに満足せず、友達の考えを聞き、いろいろな考えを知ることを通して、自分の考えを見直して、よりよくできるところを探そうとしている。

## 成果

- 試行を取り入れたことで、場面の様子や登場人物について考える中で生まれた気づきや疑問を解決するために、叙述や前時までの読み取りを生かして納得いくまで考えようとする姿が見られた。
- 交流でお互いの考えを聞き合うことで、相手の考えのよさや自分の考えとの違いを見付け、考えをよりよくしようとする姿が見られた。

## 課題

- 児童が試行するための十分な時間を確保する。
- 試行も交流も、課題解決を図るために児童が思考する活動が中心となる。そのためには、単元の導入や本時の導入のときに、児童自身が、この授業で何を考えるのか、何をやるのかが明確になるように学習計画や単元の目標を確認したり、前時までの振り返りを確認したりする必要がある。